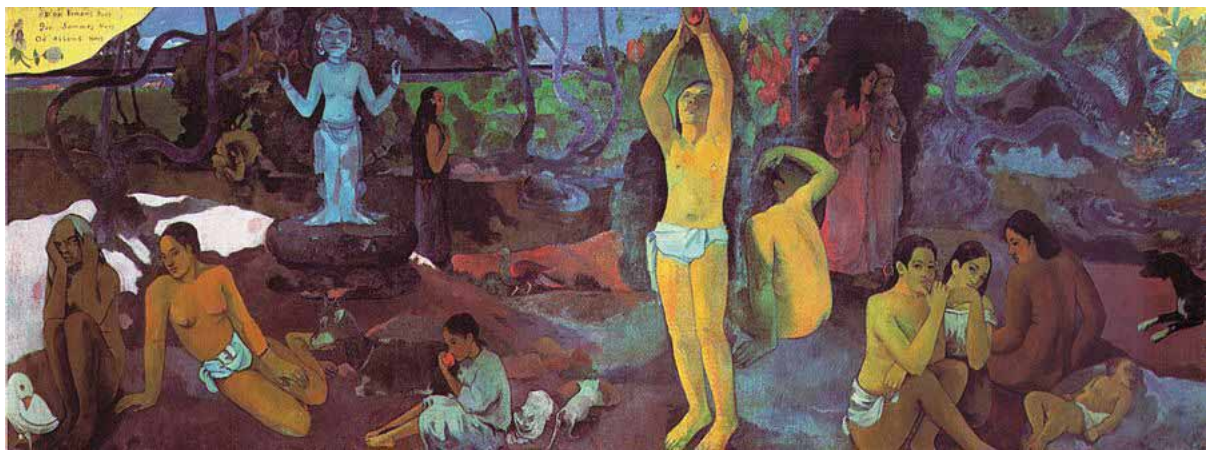


# 宗教学研究室紀要

THE ANNUAL REPORT ON PHILOSOPHY OF RELIGION



2007 vol.4

京都大学文学研究科宗教学専修編

## 第4号 (2007年) 目次

< 日本宗教学会第65回学術大会企画報告 >

「他性と媒介 京都学派とフランス哲学」	
序文	..... 佐藤 啓介(2)
種的社会の展開 田辺元とフランス社会思想	..... 伊原木 大祐(5)
否定する愛 田辺・波多野・マリオンと存在愛論	..... 佐藤 啓介(11)
ベルグソンと西田幾多郎	..... 片柳 榮一(16)
時間と他者 レヴィナスと波多野の比較考察	..... 山口 尚(20)
フランス哲学と京都学派 司会者による後書き	..... 川口 茂雄(27)

ハイデggerにおける「転回」についての予備的な輪郭づけの試み  
『道標』におさめられた3つの論考を手がかりにして

..... 田鍋 良臣(30)

第4号執筆者紹介

佐藤 啓介	関西学院大学非常勤講師
伊原木 大祐	日本学術振興会
片柳 榮一	京都大学大学院教授
山口 尚	大阪工業大学非常勤講師
川口 茂雄	東京大学
田鍋 良臣	京都大学

( 掲載順 )

宗教学研究室紀要 (京都大学文学研究科宗教学専修編) 2007年8月31日

\*\*\*\*\* 編集後記 \*\*\*\*\*

「宗教学研究室紀要」第4号を発刊する運びとなりました。本年度は、2006年9月、東北大学で開催された日本宗教学会第65回学術大会において企画されたパネル「他性と媒介 京都学派とフランス哲学」の発表を掲載いたしました。このような野心的な試みを発表する場を提供するお手伝いのできたことをうれしく思います。

編集者の不手際により、執筆者の方々にお手数をおかけしたことをお詫びし、またご寄稿をいただきましたことに感謝いたします。(山内誠記)

## Contents 2007 ( Vol. 4 )

< Reports of the organized Panel in *JARS 65th* >

Alterity and Mediation: Kyoto School and French Philosophy	
Introduction	..... SATO Keisuke (2)
Development of the Species-like Society: Tanabe Hajime and French Social Thought	..... IBARAGI Daisuke (5)
A Negating Love: Tanabe, Hatano, Marion, and Onto-agapeo-logy	..... SATO Keisuke (11)
Bergson and Nishida Kitaro	..... KATAYANAGI Eichi (16)
Time and Alterity: a comparative study of Levinas and Hatano	..... YAMAGUCHI Sho (20)
French philosophy and Kyoto school — Afterword by the chairperson of the panel	..... KAWAGUCHI Shigeo (27)

“Turning” in Heidegger's Thinking

..... TANABE Yoshiomi (30)

ISSN 1880-1900